



令和2年  
6月2日発行  
  
第 2 号  
(担当 齋藤)



～～東新潟中学校ホームページも、ぜひご覧ください！～～

URL : <http://www.higashiniigata-jh.city-niigata.ed.jp>

6月1日(月)から、学校が再開されました。コロナ対策を講じながらの学校生活が始まりました。  
初日に、放送による全校朝会があり、津野校長先生から全校生徒に向けて話がありました。

### ～「力の東新」のたいまつを～

全校生徒の皆さんおはようございます。長い休校期間が終わり、ようやく待ちに待った学校再開です。本当に嬉しく思います。

今、新型コロナウイルスが世界各国に広がって、多くの人々の命や生活を脅かし、苦しめています。この新型コロナウイルスを封じ込めようと、各国の研究者、医療従事者たちが懸命の努力を積み重ねていますが、いまだ決定打となるワクチンや薬が見つかっていません。どうやらこの新型コロナウイルスとの闘いはまだ長く続きそうです。

コロナ禍の今、生徒の皆さんはたくさんのご不便を我慢したり、家での過ごし方を工夫したりして頑張っています。もちろん、それはお家の方の食事をはじめ、生活全般にわたるサポートがあつてのことです。とても嬉しく、ありがたいと感謝しています。

さて、新型コロナウイルス感染症は、ふつう「飛沫感染」と「接触感染」で感染するとされています。しかし、いわゆる「3密」の「密閉」「密集」「密接」を避けること、手洗いやマスク着用の徹底、人と人との距離が離れていて、人がぺちやくちゃしゃべっていない場所であれば、安全が保てるということです。ですから、今日の全校朝会も、放送を使って教室で行うこととしました。教室を見渡してください。常時換気扇が回っています。教室の窓や廊下側の窓は開いていて通気が確保されています。座席も定期テストの時と同じように、前後左右の机を離しています。また、先生も友達もみんなマスクをしています。服装はウイルスが付着しても、洗濯できるように体育着です。

現在、日本国内の非常事態宣言が解除されたとはいえ、新型コロナウイルスが無くなったわけではありません。遅かれ早かれ第二波・第三波がやってくる可能性が高いと言われています。ですから私たちは「もう大丈夫」とか「たいしたことはない。」などと気を緩めずに、それにしっかりと備えることが重要です。そこで今日はこの目に見えないウイルスに打ち克つために、大切なことを3つお話しします。

一つ目は、「感染予防の徹底」です。まずは手洗いです。石けんを使って、ウイルスをよく洗い流してください。学校に着いた時、給食の前後、清掃後、活動の節目にしっかりと洗い流してください。マスクは自分が感染しないためだけでなく、人にうつさないためにも忘れずに着用してください。また、いわゆるソーシャルディスタンス、片手間隔以上の距離を保つことを心掛けてください。

二つ目は、「イマジン」です。つまり想像すること、相手の身になって考えることです。ウイルスが目に見えないように、私たちの心の中も目に見えません。見えませんが人間の心には、誰もが自分さえよければよい、自分が助かればよいという「自分中心の心」と、困っている人の力になりたい、助けてあげたいという「思いやりの心」の二つがあります。この心が行ったり来たりするのが人間です。ですが、今はこの「人に優しい思いやりの心」を前面に出して、想像してほしいと思います。「日本や世界でコロナに苦しんでいる人、コロナを封じ込めるために家族と離れ、寝る間も惜しんで頑張っている人、

コロナのために厳しい生活や暮らしを余儀なくされている人たちは、一体どんな気持ちなのだろうかと…。また、「これを友達に話したら、どんなふうに思うだろうか。」「あれをすれば友達や家族は喜んでくれるだろうか。」など、人の気持ちを想像したり、日本や地球の未来を、平和を想像したりしてほしいと思います。そして、あなた方のもっている優しい思いやりの心で、自分のできることを何か一つ行動に移していきましょう。そうすれば、誹謗中傷や偏見・差別など、起こるはずがありません。

三つ目は、「支え合い」です。人間は一人では弱い生き物です。ですから共に助け合って生活していかなければなりません。それは、学校でも、家庭でも、社会でも同じことです。また、苦しい時や辛い時は、自分一人で何とかしようとせずに、信頼できる人に相談してください。きっと力になってくれるはずです。また、そうしたよき友として、周りの誰かの支えになってあげてほしいと思います。

今日から授業がスタートしますが、無理しない程度にゆっくりと進みましょう。また、しばらくは全校生徒が一堂に集まっただけの活動は控えます。皆さんには学校生活の中でも、「新しい生活様式」を取り入れ、できるだけ「3密」を避けて、適切な間合いで学習したり、運動したりして過ごしてもらわなければなりません。皆さんの命や健康を守り、通常の教育活動を続けていくためには、もうしばらく我慢してもらっても出てきます。先生方も、皆さんを守り、学びを深めるために一生懸命に考え、授業や諸活動を工夫します。そして、一日も早く当たり前の生活に戻れるよう、みんなで心と力を合わせてこの困難に立ち向かっていきましょう。心に「力の東新」のたいまつを掲げて。

(2020年6月1日(月) 全校朝会 校長先生の話(放送)より)

## 創立70周年記念事業 「温故知新」～更なる発展と飛躍に向けて～

東新潟中学校は、今年で創立70周年を迎えます。昨年より、「温故知新」をスローガンに掲げて記念事業を進めています。体育祭(東風祭)や合唱コンクール(東華祭)などの学校行事においても70周年を記念する行事と位置付け、コロナ禍による数々の制約に対応しながら、生徒とともに創り上げていきます。また、10月24日の記念式典に向けて、実行委員会とPTA、そして生徒会が主軸となり準備を進めています。加えて、地域の皆様からの温かなご支援も大きな活力となっています。5月20日時点での寄付金は、およそ66万円となりました。また、同窓会からの補助も50万円いただきました。多くの方々からの応援を背に受け、節目となるこの一年を実り多いものにしていきます。よろしく願いいたします。

<次号では、各部門の事業内容をお知らせします>

## 生徒も教職員も‘たくましく’！ ～学校生活の様子～

当校の教育目標は「たくましく生きる生徒」です。再びの臨時休校や分散登校、午前の一斉登校など、学校生活そのものの在りようが変わる中で、生徒も教職員も‘たくましく’過ごしています。また各種大会の中止など、特に3年生にとっては「試練」という言葉では言い尽くせないほどの状況にありながらも、笑顔を絶やさず一生懸命授業に臨んでいます。教職員もガイドラインを遵守しながらの授業運営に試行錯誤しながら臨んでいます。生徒への愛に裏打ちされた「チーム東新」でこれからもがんばっていきます。(写真左から①②:分散登校ガイダンスの様子です ③④⑤:担任による朝のメッセージです)

